
伝説のマジックナイト対救世主ワタル パート2

A.I

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

伝説のマジックナイト対救世主ワタル パート2

【Nコード】

N3176B

【作者名】

A・I

【あらすじ】

このお話は、お互い、最終回を、語り合う、ワタル一行と、マジックナイト一行。海ちゃんだけ、創界山へと飛ばされてやってくるという物語である。同じ、「龍」同士。海ちゃんは、再び、過去の伝説へ……

ワタルとマジックナイト、伝説同士の雑談会

前回のことで、すっかり、仲良くなりました、ワタルグループと、マジックナイトグループ。

この2つのグループは、それぞれ、異世界で、戦いに挑んだのでした。

救世主、戦部ワタルは、ワタルで、ドアクターを倒して、見事、ロボットアニメ関連の、歴史の幕開けとなりました。女の子パイロットも、このワタルの戦いの歴史によって、

大きく反響を呼びました。そこで、現れたのが、ワタルが、「僕に近い！」と、指摘している、マジックナイトのお嬢様の存在感でした。これは、ワタルにとっても、気になる存在だと言っていました。

「僕の後輩だもんね。お姉様達は。」

戦闘方法とかを、もう少し教えてあげべきだったかな？」

ワタルは、苦笑いしながら、話していたという。

その後に登場して、セフィーロの戦いの真っ最中の、マジックナイトさん達。

さて、ワタル一行は・・・あれから、平和になりました。

そして、ここ、創界山にて、星龍殿で、話題に花が咲く。

「ところでよ！ワタル！あれから、マジックナイトのお嬢様方は、セフィーロに、平和を取り戻したんじゃないだろうか？気にならんか？苦戦しとらんかな？」

いくらなんでも、女の子のお嬢様じゃ。心配じゃ。

加勢しに行つてやりたいが、残念ながら、番組が違いすぎる。」

と、シバラクの一言から始まりました。

ワタルは、「僕も心配だよ。

あの子、上手くやってるかな？」そう・

あの青い女の子、龍咲海ちゃんの手配をしていたのです。

ワタルは、目が輝きました。

「お姉様。会いたいな・・・久しぶりに。

あの時は、あのお姉さんが！？で、僕、未来の話聞いて、驚いちやってさ。

友達所か、喧嘩になっちゃったもんね。

本当の彼女を知りたいな。」ワタルは、こんなことを、思っていたのです。

しかし、また、再会の日がやってくるとは、夢にも思いませんでした。

さて、場所が変わり、最後の決戦を迎えておりました、セフィーロでは。

ザガートの決戦が終わって・・・

そう・・・あの、悲劇の始まり、エメロード姫が！！

エメロード姫は、「お願い！私を殺して！

そうすれば、自由になれて、ザガートの元へ行ける・・・」と、言い出した。

「・・・」3人は、ウルウル涙をこぼします。

3対の魔神が、1つの大きい魔神に変化！！

「光のらせん！！！！」

巨大ロボットに乗り込んで、魔神、エメロードを、倒しました。しかし、3人の、救世主のお嬢様は、手を取り合って、ウルウル泣いています。

そう・・・とても、悲しい、最後を迎えてしまいました。

ザガートのせいではなかった。

ザガートと、エメロードの恋。初めて真相を知ったのです。

「伝説って・・・このことだったの・・・」

海は、座り込んで泣いています・・・

こうして、東京へ、いったん、帰ってた、マジックナイトさん達は、ワタルとは、違って、辛い日々を送ることになりました。

元気がない、3人。

そして、海は、あの超過去の少年を思い出す。

「あの子なら・・・この伝説のこと、どう思うかな？」

私、会いたい・・・救世主ワタルにすごく、会いたい！！
会って、話がしたい。戦いの先輩だもの。」

海は、泣き出しました。すると、空から光が・・・

光って、再び、創界山へと、飛ばされたのでした・・・

今回は、海ちゃんだけ・・・

光は、「海ちゃん！消えちゃった・・・」と、涙ながらに、話しています。

「そうか。意志の世界。セフィーロは。」

私達が、強く願えば、何でも、行けるんですわ。「風は言いました。

「じゃあ・・・あの男の子のどこへ？」光は、少年を思い出しました。

「たぶん。最後のあらしを、話しに行ったのでしょうか？」風は、

私達は、今回、

ここで、待機しようかと、言いました・・・

さて、悲しみのどん底に、陥っていた、海ちゃんは、創界山へと、
やってきたのでした・・・

第1話

こうして、海ちゃんは、元気がなく、創界山へとやってきました。

そこで、海は、平和になった、創界山を美しい姿を目にします。

「ワタルくんは、やったんだ。ドアクダーって、どんな奴だったのか。」

話を知りたい・・・

私達だって、3人だけど、同じ役目は、救世主みたいなものはずだもの。

気持ち共感出来るかもしれない。

私達のが、辛い経験になっちゃった。」と、海は、涙をこぼします。

まず、彼女は、モンジャ村のおババのところへ、再びやってきました。

「どうしたんじゃ？えらいまあ、かわいそうに。

お腹もすいているんじやろっ？食べて行くがいいぞ。」

と、おババは、ビックリ。

そう・・・彼女、やせていて、悲しみにくれていたんだ。

おババは、海から、後で、すべての、悲しい伝説を聞いたのでした。

「なるほどのっ・・・」

我々とは、違ってしまっただか。

よろしい。ワタルのそこ、行くがいい。

星龍殿におるぞ。」と、オババは、言いました。

「ありがとう！おばあさん・・・」海は、お礼を言つと、
体力を回復して、星龍殿に向かいました・・・

さて、星龍殿にて。

家来達が、「これ！！きさま、何者だ！！」と、海ちゃんを取り囲みます。

「今ね、あたしは・・・すんごく、機嫌が悪いの！！
この！！どいてよ！！離して！！助けて！！！！」

と、いきなり、大暴れしてしまう、海の目には、悲しみの涙があふれていた。

「女の子を捕まえたぞ！！」

と、神殿にいた、兵士達が、知らせに来たので、ワタルは、「どうしたんだ？」と、

兵士に訪ねた。話を聞いたワタルは・・・

「女の子だつて???」と、驚くと、
玄関に向かった。

走って、玄関に向かうと・・・

「あ！？きつ！君は・・・!?」と、剣を持ったまま、ワタルは、
驚いた。

そして、笑顔になる。ワタルは、「海！！海じゃないか！！」
と、笑顔で、駆け出して行った・・・

「ハッ！ワタル・・・」海は、久しぶりの彼に、目を見張る。

海は、自然と涙がポロポロこぼれてきた・・・

ワタルは、様子がおかしい、海に、「え！？」驚いてしまう。

海は、「・・・」パーツと、彼に抱きついて行った・・・

そして・・・

「うわーーーーーん！

こんなのって・・・こんなのって・・・

こんな最後なんて、ないんだから・・・」

海は、ワタルを、抱きしめると、ワンワン泣き出しました・・・

他の仲間が何事かしらと、後からやってきます。

「どうしたんじゃ??何事じゃ??」シバラクは、様子がおかしい
と言い出しました。

「ちょっと!??どうしたの?ザガートがすべて、悪い奴なんですよ?
セフィロが、平和になったから、報告に、来たんじゃないの
?」

と、ワタルは驚く。「もちろん、私達、ザガートを倒して、セフィ
ロは、平和には、なりましたわ・・・」海は、泣きながら言いまし
た・・・

「じゃあ、なぜ?どうして?一体どういうことなの!?!」

ワタルは、あまりの悲しみの海に、驚いていました。

こうして、海ちゃんの、悲しみの向こうで体験したすべてを、ワタル達に話すことになったのです。

ワタルは、これは、タダごとじゃない。

こんなに悲しい彼女を見たのは、初めてだと言い出した。

ワタルは、彼女を、星龍殿の、大広間へ案内しました。

コーヒーを、彼女にあげました。

仲間達は、「どういうことなんじゃ?」と、驚いてしまっている。

9

こうして、海は、固くなりながら、すべての伝説を打ち明けた。

・・・

第2話

海ちゃんは、ワタルと仲間達に、体験をすべて、打ち明けました。悲壮なる、辛い、最終回を。

ワタルは、「・・・。」と、話を聞いた後、元気をなくしていた。後ろ向き出した。

「ワタル・・・!?」海は、後ろ向いてしまったので、驚いている。

ワタルは、「そんな!!」だって・・・年離れとか、お姉様だからとか、そんなことは、もう、どうでもいいよ!

同じ、救世主同士・・・仲間みたいなもんじゃないか。どうして、こんなに、違うの!？」と、両手で、両目を覆うと、泣き出した・・・

「なんと・・・セフィーロが、おかしくなったのは、ザガートのせいではなかったと・・・

そうか。柱のお姫様が・・・」
驚いて言う、シバラク先生。

「お姫様は、死んじゃったのか?」ヒミコも、涙こぼしている。

「私、伝説のマジックナイト・・・でもね。

私達もあなたと同じようなことをしていたと思うの。

だから、救世主として、こんなことしてよかったのかなって・・・ねえ、ワタル・・・

同じ龍同士だからこそ、あなたに、うかがいたい。

もし、あなたの最後が、私達と同じだったら、あなたは、救世主として、どうしてたと思う？

気軽のまま、このまま、めでたしで、いいのかな？」と、海は、泣きながら言いました。

「僕・・僕の時は・・」

ワタルは、ドアクターを倒した、最終決戦を話しました。

虎王も、一度は死んだけど、よみがえって、しょうりゅうしに戻ったことも、全部。

海は、「あんた達は、いいわよ！無事に、その虎王って人が、生き返ったんだもん！

私達は！！エメロード姫と、ザガートは、もう！！生き返れないのよ！！」と、更に、泣き出してしまった。

ワタルは、「・・」あまりに、辛い、最終戦話しに、これ以上、慰めようがなかった。

海は、机に、顔を伏せて、ワンワン、泣き出していました・・・

仲間も、「・・」元気がなく、見守ることにしました・・・

ワタルは、「しばらく、君は、僕達の世界にいなさい。

少し、心を落ち着かせた方がいい。心が荒れてるし・・・クタクタに疲れちゃってる。以前より、少し、やせてるみたいだし。このままでは、かえって心配だよ。

ベッドを貸してあげる。

だから・・・しばらく、この世界で休養して、泊まっていきなさい。

ここで、心と体を休めてさ。

また、新しく、君達は、君達の世界で、がんばればいいじゃないか。

あれ？ところで、君の、お仲間さんは？

そういえば、後の2人のお姉様方は？それと、白い生き物ちゃんは？」と、驚いて、聞いた。

「光と風は、元の世界で、元気でやってるわ。

モコナは、セフィーロで、お別れしたわ。

私は・・・セフィーロは、意志の世界だから、

あなた達に会いたいって、強く念じたら、私だけ、どうやら、この世界に飛ばされたみたい。」

海は、涙を拭くと言いました・・・

「そうか。この世界にいる間は、よろしくね。海！

何か、こっちの世界へやってきたってことは、君だけね。

何か、特別な理由が、あるかもしれないな。」ワタルは、笑顔で、言いました。

「ワタル・・・ありがとう。少し、スッキリしたわ。

こっちの世界で、一休みしてよかったわ。

あなたは、私達の戦いの先輩だもん。

話を聞いてもらってすごく、よかった。」と、海は、笑顔で、言いました。

「君は、笑顔が、一番合ってるよ。やっと、笑顔になってくれたね。」

ワタルは、言いました。

「しばらく、お世話になります。」海は、お辞儀をしたのでした・
・
こうして、海ちゃんが、今回、創界山に、ゆっくりと、羽を下ろす
のでした・・・・

しかし、心の傷は、相当、深いものがあるようで、ワタルは、心配
していたのです。

「どこか、元気がない。このまま、返すのは、心配だな。
どうしたら、いいんだ。あまりに、僕たちとは、最後の決戦が違
すぎる。」
深刻に悩む、ワタル。

「うーん・・・・しかしのう、ワタルちゃん。
一度、話してみることにじゃな。」

そのお姫様は、ワシ、思うのだが、最後、倒された後の問題じゃよ。
心の・・・・
倒されて、3人を恨んで死んで行ったのが、果たして、真相は、ど
うだったんじゃない?？」

と、シバラクは、言い出しました。

「そっか。それを、海に、ぶつけてみよう。」ワタルは、考えたの

でした・・・

こうして、芝生に腰を下ろして、横になっていた海ちゃん。空を見つめるうちにも、涙がこぼれてくる。

そこへ、ワタルが、やってきました。

ワタルは、「平和って・・・やっぱり、いいもんだよ。」と、背伸びして、彼女の側に座りました・・・海は、「うん。この世界を、見ていると分るわ。小鳥のさえずり、そして、綺麗な海。

そして、虹の綺麗なこと・・・でも、私達のセフィーロは・・・。」と、泣き出した。

ワタルは、「海！？かわいそうに。やせて・・・

夜・・・眠れてないんじゃないのか。顔色悪いみたいだし・・・僕には、せめて、このくらいしか、出来ないけど・・・。」

と、彼女を思い切り、抱きしめました・・・

「ウワーン！」海は、ワタルの胸元に、顔うずめると泣いています。

「海・・・」ワタルは、優しく背中をさすると、こんなことを言い出しました。

「ねえ、海？

その、お姫様、君達に、最後に何て言って死んでいったのかな？君達を恨んで死んで行ったの？」とワタルは、聞きました。

海は、「いいえ・・・いいえ！

(顔覆って泣いている。)

「ありがとう。伝説のマジックナイト達・・・」と、笑顔で死んで行ったわ・・・」

と、涙ながらに、話しました。

ワタルは、笑顔になりました。

「じゃあ！そのお姫様、恨んで、死んで行ったわけでは、ないんじゃないか。

きつとね。僕は、こう、思うよ。

あの世で、エメロードのお姫様だっけ。

ザガートと、2人で、結婚式挙げてさ。

仲良くあの世で元気でやってるんじゃないかな。

だって、考えてもみろよ。

そのお姫様の冠つてのが、僕、気になるんだけどさ。

それがあるから、自由がなくて、生前時は、苦しい思いしていたんでしょ？

柱つてのは、心を乱すことが許されないんだって、君、言っていたじゃないか。

じゃあ！僕、プラスに考えるとさ。

君達の場合は、これで、よかつたんじゃないかな。

何も知らないのに、今まで、やってきたんだから。

そこまで、深刻になることないよ。」

ワタルは、笑顔で言いました。

何事も、プラスで行かないと、これから、先が、やっていけないぞと、海に教えます。

「ワタル・・・」海は、立ち上がると、涙を拭くと、背伸びしました。

「ね？深く考えないでさ。

だったら、今度、君達がもし、行くことになったら、後悔しないようにやればいいでしょ？

強くならなきゃ。君は、もっと、強いはずだよ。」

ワタルは、笑顔で、優しく、言いました。

「ワタル・・・

私、あなたが、伝説の救世主になれた意味、分る気がする。

あなた、心が、優しいし、広いもの。

仲間思いで・・・

私は、違う。同じ龍でも・・・ワガママで・・・怒りっぽくて・・・

泣いてばかりいて、プラスに物事を考えられなかった。「海は、言いました。

「大丈夫。君は、やれる！」

僕が保障するから。応援してあげるから。

向こうの世界、戻ったら、しっかりやれよ！

大丈夫か？向こうに戻っても、これから、先、やれそうか？」ワタルは、心配して言います。

「うん！私、もう、泣かない。

ありがとね。ワタル。

私、明日、戻ろうと思います。「海は、笑顔で言いました。

「そうそう！それぞれ！やっぱし、笑顔でなくっちゃ！
分った。明日、見送るよ。」ワタル、笑顔で言いました。

2人は、顔を見合わせると、クスクス笑い出したのでした・・・

「しっかし！それにしても、似てるよな。」ワタル。

「魔神の声も、あなたと同じなんてね！」海。

また、噴出しては、それぞれ、大笑いしているのでした・・・

こうして、気持ちを入れ替えた海ちゃんは、次の日、元の世界へ戻ることとなりました・・・

最終回

こうして、海ちゃんは、元の世界へ帰ることになりました。

向き合う、戦部ワタルと、龍咲海。

ワタルは、笑顔で、「がんばれよ！2人のお姉様によろしくね！
僕も僕で、おもしろい女の子の冒険世界があつたなんて、初めて知
つたよ。

いい勉強させてもらった。ありがとう！

僕の活躍が、ここまで、未来に大きく影響していたなんてね！」
と、彼女と最後のお別れで、握手しました。

海は、ワタルの手を取りながら、「あなたとゆっくり、お話が、出
来てよかった。

ありがとう・・・。」と、スーッと、消えて行く感じでした。

「海殿！元気でのおー！！」シバラクは、手を振っていました。

「元気でね！！」ヒミコも飛び上がっています。

ワタルから、手を離して、消えかけようとした、海。

海は、姿が消える前、最後に、お名残がよほど、惜しいのか、彼に、
抱きついて、

ワタルの顔を見る。そして、「ありがとう・・・小さな、かわいい、
勇者さん」

と、彼の唇に、キス・・・しながら、そのまま、消えて行ったのでした・・・

ワタルは、「え!？」と、驚いて顔真っ赤。

首を激しく振って、切り替えると・・・

「海!!元気でやれよ!!」

これで、もう、最後、合えないけど、見守ってるからね!!」

と、空に向かって、大きい声で、叫んでいたのです・・・

空には、海ちゃんの姿が、あったのです・・・

ワタルは、胸に秘めると、「同じ、魔神パイロットとして、後輩達にも、がんばってもらいたい。」と、先生やヒミコに話していたのです。

こうして、海ちゃんは、再び、東京へと戻ってきたのです・・・

気持ちを入れ替え、学校に再び専念しながらも、再び、また、セフイーロ行くことになったのです。「マジックナイトレイアース2」の方へ物語が、差しかかり、元気で、がんばったのです。

(終わり)

最終回（後書き）

最後は、こういう形で締めくくりました。

同じ「龍」というシンボルなので、レイアースから、海ちゃんを中心に試してみました。

戦部ワタルと龍咲海っていう組み合わせどうでしたか？

一味違うと思います。

これは、これで、楽しんで下さい。

読んで下さって、ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3176b/>

伝説のマジックナイト対救世主ワタル パート2

2011年9月21日22時34分発行